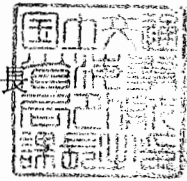




国海外第 22 号
保警国第 6 号
平成 20 年 4 月 21 日

社団法人 日本船主協会会長
社団法人 日本外航客船協会会長 殿
外航海運船社各位

国土交通省海事局外航課長



海上保安庁警備救難部国際刑事課長



ソマリア沖での日本籍船舶への発砲に関する注意喚起について

本 21 日 10 40 頃（日本時間）、日本籍の大型原油タンカー「高山」がサウジアラビア・ヤンブー港に向け航行中、アデン湾（北緯 13 度 00 分、東経 49 度 07 分）において、小型不審船 1 隻から銃火器のようなものから発砲を受け被弾し、船体に損傷を受けました。（詳細については現在調査中）

ソマリア沖での海賊事案については、昨年 10 月 28 日に発生した日本関係船舶の被害を受け、国土交通省海事局外航課長から平成 19 年 10 月 29 日「ソマリア沖での行方不明船情報及び海賊等に関する注意喚起について」の公文書を発出するなど、これまで、再三にわたり注意喚起を呼びかけているところで

す。
つきましては、各団体及び各船社におかれては、本件につき既に発出されている平成 17 年 12 月 13 日付「ソマリア沖での海賊発生状況及び注意喚起について」及び平成 19 年 10 月 29 日付「ソマリア沖での行方不明船情報及び海賊等に関する注意喚起について」に基づき、改めて同海域における海賊対策を徹底して頂きますようお願いいたします。

国海外第178号

平成19年10月29日

社団法人 日本船主協会会長
社団法人 日本外航客船協会会長 殿
外航海運船社各位

国土交通省海事局外航課長

ソマリア沖での行方不明船情報及び海賊等に関する注意喚起について

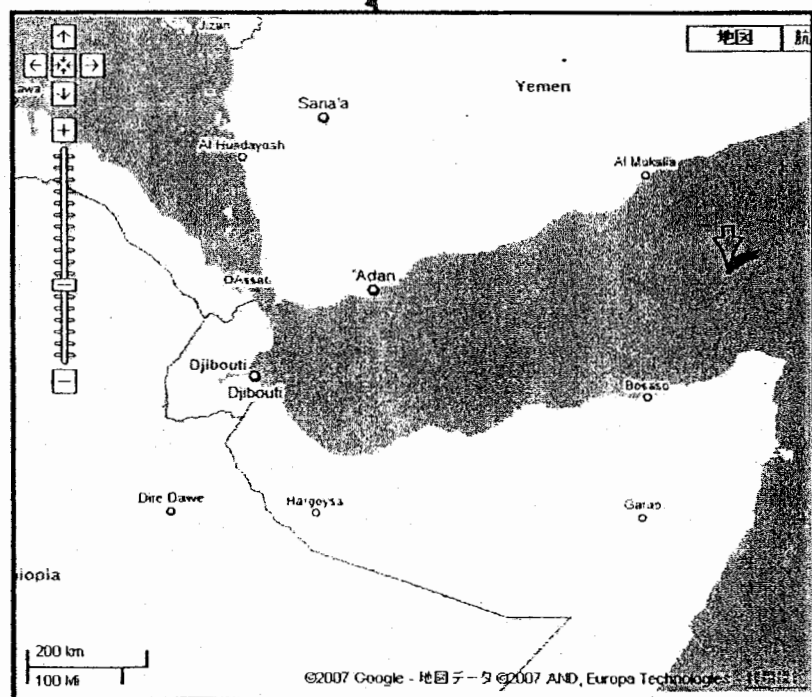
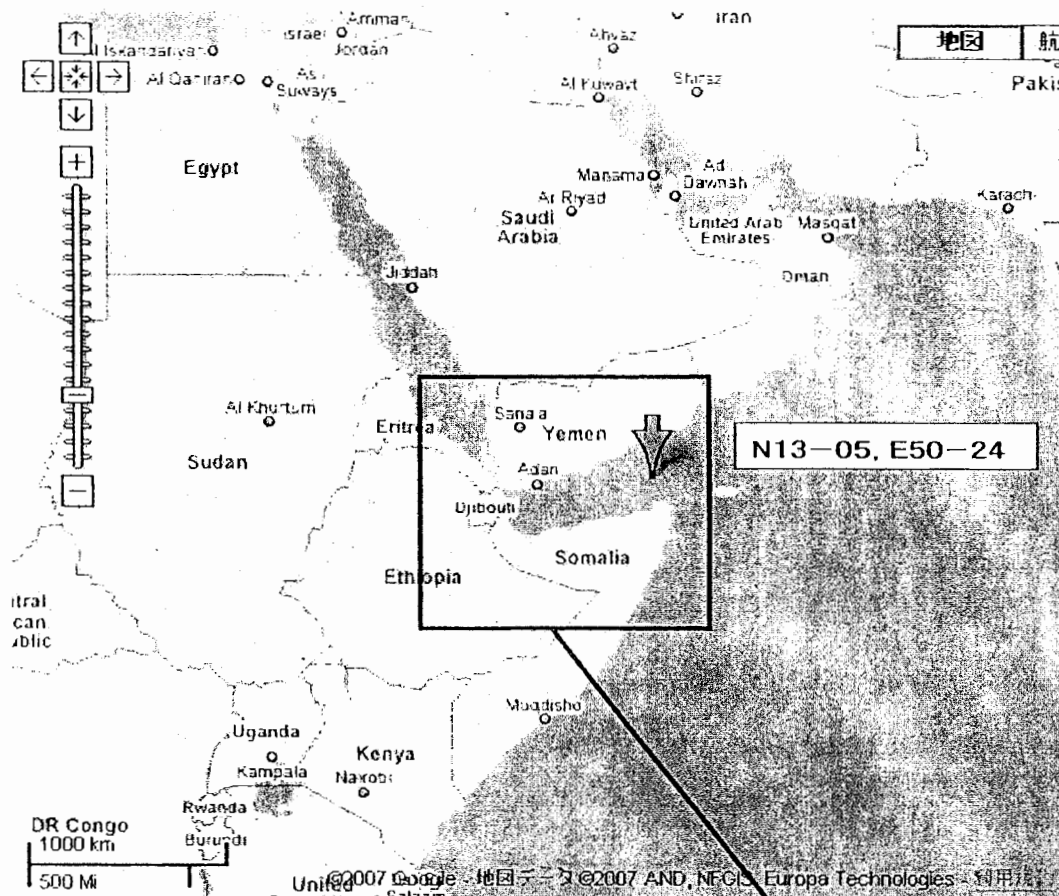
昨日、フランス海難救助調整センターから海上保安庁に対して、日本関係船舶から遭難信号（発信日時：28日0224（世界標準時）、発信位置：北緯13度5分、東経50度24分（紅海入口付近））を受信したとの連絡がありました。その後、当局において船主及び関係機関と情報連絡をとるも、同船の行方は把握できていません。

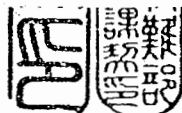
ソマリア沖での海賊事案が多発していることから、国土交通省海事局外航課長及び海上保安庁警備救難部国際刑事課長の連名により、平成17年12月13日「ソマリア沖での海賊発生状況及び注意喚起について」の公文書を発出し、注意喚起を呼びかけたところであります。

また、国際海事局海賊報告センター（IMB-PRC）からの情報によると、同海域において、先週（10月21日）以降、本件を含め3件の海賊又は未遂と推定される事案が発生するなど、危険が増大している状況にあります。

つきましては、各団体及び各船社におかれては、改めて同海域における注意、予防措置の実施を徹底して頂けますようお願いいたします。

(参考図)





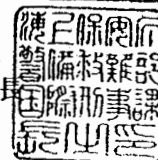
国 海 外 第 296 号
保 警 国 第 119 号
平 成 17 年 12 月 13 日

社団法人 日本船主協会会長
社団法人 日本外航客船協会会長
殿

国土交通省海事局外航課長



海上保安庁警備救難部国際刑事課長



ソマリア沖での海賊発生状況及び注意喚起について

最近、アフリカ・ソマリア沖（以下「ソマリア沖」という。）においては、本年3月頃より海賊事件の発生が急増しており、本年6月及び10月にインド洋大津波の被災地に支援物資を運ぶ途中の国連のチャーター船がハイジャックされ、更には11月に、米国の会社が運航するバハマ籍客船が、ロケットランチャーやマシンガン等重火器で武装した海賊に銃撃を受けるなど、緊迫した状況が続いています。

こうした情勢を踏まえ、国際海事機関（IMO）においても、11月21日から12月1日まで開催されたIMO総会において、ソマリア沖の海賊及び海上武装強盗に対する決議案が急遽提出され、11月30日に採択されています。

つきましては、以下のとおり、ソマリア沖の最近の海賊事件の動向等について情報提供させていただきますとともに、日本関係船舶に対しては、以下について周知徹底を図って頂き、合わせて傘下事業者にも別添5の調査にご協力を依頼して頂きますようお願い致します。

1. ソマリア沖での海賊発生状況等（別添1及び2参照）

- (1) ソマリア沖の海賊事件の発生状況は、IMB（国際商業会議所国際海事局）によると、昨年はずか2件の発生に留まっていたましたが、今年に入ってから、12月12日現在で総件数33件（既遂15件、未遂13件、不明5件）と急増しています。
- (2) これに対し、日本及び米国は10月下旬から継続して航行警報を発出し、付近を航行する船舶に対し注意喚起をしています（日本航行警報については海上保安庁ホームページ <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/nmj.html> により閲覧可能）。
- (3) ソマリア沖の海賊事件の特色としては、以下のものが挙げられます。
 - ① 発生海域については、沿岸域にとどまらず、距岸約100～200海里でも多発している。また、母船を使用することにより、さらに沖合まで進出している事例もあり、11月に入ってからには距岸約390海里でも発生している。
 - ② 海賊の襲撃対象は、付近を航行する全ての船舶となっており、特定の船種や国籍の船舶だけを標的としていない。なお、乗り込みが容易な比較的小型の船舶は標的となりやすい。
 - ③ 海賊は、長さ10m未満の高速艇に乗り込み、襲撃の際は、機関銃、ロケットランチャー等の重火器を使用し、接近すると鈎付縄梯子を使用して舷側をよじ登り船内に進入する事例が多い。
 - ④ 海賊事件は、主として身代金を目的としたハイジャックが多い。
 - ⑤ ソマリア沖の海賊は、おとり船を用いて海難を装うとの情報もあり、その手口は巧妙化している。
 - ⑥ 海賊は、長時間にわたり被襲撃船舶を追跡しており、長いものとしては約2時間も追跡した事例がある。
 - ⑦ 増速、警笛等の回避行動により、ハイジャックを免れている事例がある。

2. 国際海事機関における決議採択

ソマリア沖での海賊事件の多発を受けて、IMOにおいても検討を行うこととなり、11月21日から12月1日まで開催されたIMO総会において、ソマリア沖の海賊及び海上武装強盗に対する決議が急遽提出され、11月30日に採択

されました（別添3参照）。

同決議においてIMOは、加盟国に対し自国籍船への注意喚起を促すこと等の措置の実施を求めるとともに、国連事務総長及び国連安全保障理事会への適当な措置の検討を要請しています。

3. 航行船舶への注意喚起等

ソマリア沖で海賊に遭遇しても、現在も内戦状態のソマリアには、全土を実効的に支配する国際的に認められた政府が存在せず（外務省ホームページ <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/somali/>参照）、近隣国の海上警備当局も十分な海上警備能力を有しているとは考えられないことから、救助には相当な困難が予想されます。

このため、日本関係船舶においては、海賊事件への遭遇を防止するため、次に掲げる措置を行って頂きますようお願い致します。

- (1) 「マラッカ・シンガポール海峽を通航する日本関係船舶の海賊対策について（平成17年10月14日、国海外第245号、保警国第82号）」の別紙2-2（IMOの海賊対策ガイドライン）、別紙2-3（（社）日本船主協会による「保安計画の指針」）、別紙2-4（海賊襲撃のリスク評価）を参考にして、ソマリア沖を通航する際における海賊襲撃のリスク評価を実施し、リスク評価を踏まえて船舶保安規程を見直し、または、当該リスク評価に基づく必要な保安措置の実施を行うこと。
- (2) 可能な限り陸岸から十分な距離を確保し、事件発生海域に近づかないこと。
その際、距岸390海里付近でも海賊事件が発生したことを考慮すること。
- (3) 航行中、停泊中を問わず、周囲の警戒を厳重にすること。
- (4) 航行警報のほか、海賊に関する報道等の情報に十分注意すること。
- (5) 日本関係船舶が事件・事故等に遭遇した場合は、関係機関が必要な措置を講じるため、迅速に次の①及び②の関係機関に通報すること。ただし、前述のとおり、現場における救助には相当な困難が予想されることを留意すること。また、日本関係船舶については、船舶警報通報装置による通報も可能なので、希望する船舶は「マラッカ・シンガポール海峽を通航する日本関係船

船の海賊対策について（平成 17 年 10 月 14 日、国海外第 245 号、保警国第 82 号）」に基づき手続きを行うことを考慮すること。

① 近隣沿岸国の救助調整センター（Rescue Co-ordination Centre : 以下「RCC」という。）（別添 4 参照）等

ただし、近隣国 RCC は、その全てが 24 時間無線を聴取する体制にあるわけではなく、更にはインマルサット、テレックス等通信設備が未設置なものもあるので留意する。

② 国土交通省海事局外航課及び海上保安庁

（別添 1 : ソマリア沖における海賊及び海上武装強盗の状況）

（別添 2 : ソマリア沖での海賊事件発生事例）

（別添 3 : IMO 決議文）

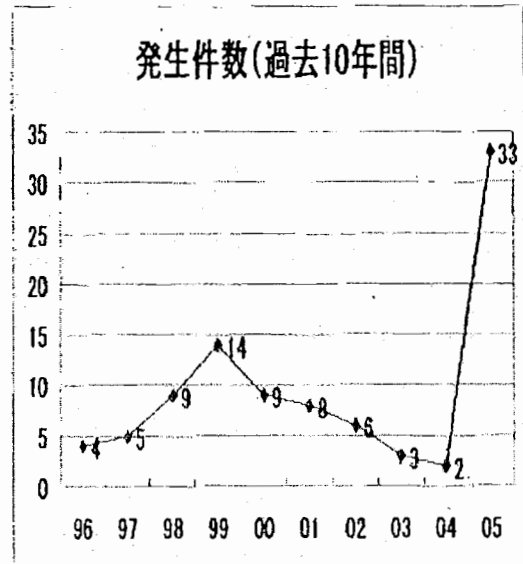
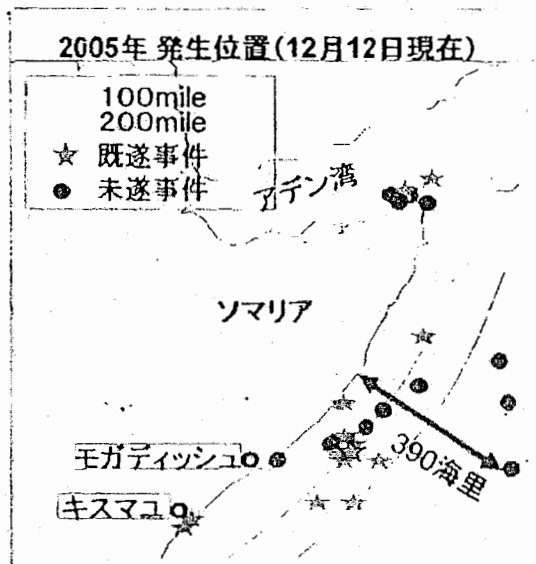
（別添 4 : ソマリア近隣国 RCC）

（別添 5 : 日本関係船舶のソマリア沖航行実態調査）

【別添1】

ソマリア沖における海賊及び海上武装強盗の状況

【IMB(国際商業会議所・国際海事局)レポート等による】



1. ソマリア沖での発生件数

2004年 2件 (未遂・既遂各1件)
 2005年 (12月12日現在)
 33件 (既遂事件15件
 未遂事件13件
 不明5件)

2. 既遂事件(15件)の内訳

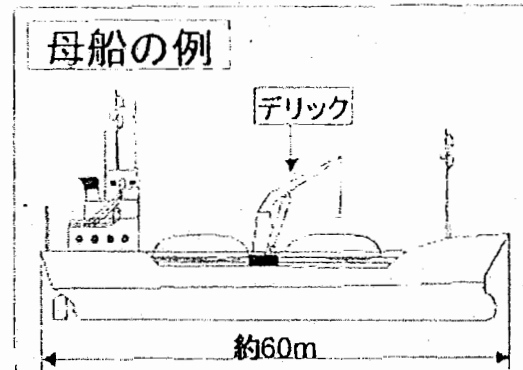
- ・ハイジャック事件…9件
- ・乗り込まれた事件…1件
- ・乗り込まれなかったが船に対し発砲したもの…5件

3. 使用武器

重火器 (AK47といったマシンガン、グレネードランチャー、ロケットランチャー) の使用が報告されており、長刀等を併用して乗り込んでくる東南アジアの海賊及び海上武装強盗と比べてさらに悪質・凶悪

4. 襲撃海域

沿岸のみならず、中には距岸100~200マイル以上も離れた海域で多発しているが、母船を使用することにより、さらに沖合まで進出している事例もあり、11月に入ってから距岸約390マイルでも発生



【別添2】

ソマリア沖での海賊事件発生事例

1. 海賊が、母船により沖合に進出した事例

(発生日時) 11月8日 0900LT

(発生場所) ソマリア東沖約 390 マイル (1:38.6N 53:58.7E)

(概要) 一般貨物船が航行中、15 マイル先に漂流している船を発見した。船長はコースを変え、スピードを上げた。漂流船は貨物船を追走したうえ、小型ボートを降ろして貨物船を追跡した。追跡は 10 時半まで続いた。

2. 海賊を装ったおとり船を用いた事例

(発生日時) 11月5日 1500LT

(発生場所) ソマリア東沖約 320 マイル (4:26.3N 54:14.6E)

(概要) 航行中のバルクキャリアーが同船より 16 マイル先に漂流している小型船を見つけ、接近したところ、急にその小型船が船速を上げ、同バルクキャリアーの追跡を開始した。船長は、増速し、回避行動をとり、かなり沖合まで航行したが、同小型船は、17 時まで追跡を継続した。船長は、小型船が一つのデリックを有することから、母船があると思料した。

3. 海賊が重火器を発砲してきた事例

(発生日時) 11月6日 0948LT

(発生場所) ソマリア東沖距岸約 100 マイル (2:29.3N 48:28.2E)

(概要) ロケットランチャー、マシンガンで武装した海賊が RO-RO 船に発砲、船長は回避行動及び速力を最大まで上げ、海賊を引き離したところ、海賊は攻撃をやめた。発砲により船橋の窓が割れた。

(発生日時) 7月16日

(発生場所) ソマリア沖距岸約 15 マイル (4:37.4N 48:25.9E)

(概要) バズーカ砲とマシンガンで武装した 4 人の海賊が白い船体に黒いブルワークの高出力のエンジンを搭載した船に乗船し、航行中の Ro-Ro 船 (7,049 トン) に対し発砲してきた。同船は、船体に損傷を受けたが、乗員に怪我等はなかった。

(発生日時) 4月10日 12:50LT

(発生場所) ソマリア沖距岸約 60 マイル (3:34N 48:24E)

(概要) マシンガンやグレネードランチャーで武装した 8 人の海賊が 2 隻のスピードボートに乗り、航行中であつたバルクキャリアー (14,009 トン) に対し発砲してきた。同船船長は、回避行動、増速、警笛、遭難信号の発出を行い、乗員はドアに施錠し、船内に隠れていた。2 発のグレネードランチャーが救命艇に当たり、炎上した。海賊はなおも銃撃を続け、携帯用はしごを用いて乗り込んできたが、船内に入ることができなかった。海賊は、約 1 時間後、立ち去った。甲板の上部構造物には多くの弾痕がのこり、船長室の窓も割れていたが、乗員は皆無事だった。

4. 回避行動をとり襲撃を免れた事例

(発生日時) 10月26日 1810LT

(発生場所) ソマリア沖距岸約250マイル (6:09N 53:45E)

(概要) 5隻の高速艇がタンカーにライトを照射しながら追いかけた。うち1隻が船速をあげ、同タンカーに接近したが、クルーが甲板のライトを照射し、同タンカーがかなり沖合まで航行したところ、海賊は追跡を断念した。

(発生日時) 7月26日

(発生場所) ソマリア沖距岸約90マイル (3:49N 48:47E)

(概要) マシガンとロケットランチャーで武装した8人の海賊が乗った2隻のスピードボート(白い船体に青いストライプ)が、航行中のタンカー(25,400トン)に接近してきた。うち1隻が、30m弱まで接近し、同タンカーに向け発砲した。タンカー乗員は放水により対応し、船長は船速をあげ、回避行動をとり、沖合に向け航行したところ、2隻のスピードボートは乗り込みを諦めた。乗員に怪我等はなく、船体に損傷もなかった。

(発生日時) 7月21日

(発生場所) ソマリア沖距岸約100マイル (3:38N 49:30E)

(概要) 銃で武装した複数の海賊が、スピードボート(長さ: 8~10m、船体: 青、白)に乗り、航行中のバルクキャリアー(20,815トン)に接近し乗り込もうとした。しかし、同バルクキャリアーの船長は、警笛をならし、放水で対応したところ、海賊は銃で応戦してきた。船長は船速をあげ、回避行動をとりながら、沖合に向け航行し続けたところ、天候も悪かったこともあり、海賊は乗り込みを断念した。

(発生日時) 3月31日

(発生場所) ソマリア沖距岸約200マイル (0:40.5N 48:49.1E)

(概要) 6人の銃やグレネードランチャーで武装した海賊が2隻のスピードボートに乗船し、航行中の貨物船(5,879トン)に接近し乗り込もうとした。同貨物船は、遭難信号を发出し、船速をあげ回避行動をとったところ、海賊は約2時間後、乗り込みを断念した。

(発生日時) 11月5日 5:25LT

(発生場所) ソマリア沖距岸約70マイル (02:59N 48:01E)

(概要) 6人の銃やグレネードランチャーで武装した海賊が2隻のスピードボートに乗船し、航行中の客船(米国の会社が運航)に接近した。海賊は、ロケットランチャーやマシンガンを発砲し、船体に損傷を与えた。客船は回避行動をとり、かなり沖合まで航行したところ、海賊は追跡をあきらめた。船員1名が手に軽い怪我を負った。後に、米国の会社が、同客船は非殺傷兵器の長距離音響装置(LRAD: Long Range Acoustic Device)で海賊を撃退した旨、明らかにした。

5. ハイジャックの事例

(発生日時) 10月12日

(発生場所) ソマリア、メルカ港(モガディッシュの南西約55マイル)

(概要) WFP(国連世界食料計画)の支援物資を搭載した貨物船がメルカ港で荷降ろしをしていたところ、銃で武装した6人の海賊が同船をハイジャックした。WFPの契約業者と地元区長が乗船した上で、乗員10名の解放交渉をした結果、乗員全員が解放され、積み荷も無事であった。

INTERNATIONAL MARITIME ORGANIZATION



IMO

【別添3】

E

ASSEMBLY
24th session
Agenda item 8

A 24/WP.1
28 November 2005
Original: ENGLISH

**REPORT OF THE COUNCIL TO THE ASSEMBLY ON THE WORK OF THE
ORGANIZATION SINCE THE TWENTY-THIRD SESSION OF THE ASSEMBLY**

Piracy and armed robbery against ships in waters off the coast of Somalia

Note by the Secretary-General

Attached at annex is the text of the Assembly resolution on Piracy and armed robbery against ships in waters off the coast of Somalia as adopted by the Assembly at its plenary session on 23 November 2005.

For reasons of economy, this document is printed in a limited number. Delegates are kindly asked to bring their copies to meetings and not to request additional copies.

ANNEX

Resolution A.[....](24)

Adopted on 23 November 2005
(Agenda item 8)

**PIRACY AND ARMED ROBBERY AGAINST SHIPS
IN WATERS OFF THE COAST OF SOMALIA**

THE ASSEMBLY,

RECALLING Article 15(j) of the Convention on the International Maritime Organization concerning the functions of the Assembly in relation to regulations and guidelines concerning maritime safety and the prevention and control of marine pollution from ships,

RECALLING ALSO article 1 of the Charter of the United Nations, which includes, among the purposes of the United Nations, the maintenance of international peace and security,

ALSO RECALLING article 100 of the United Nations Convention on the Law of the Sea (UNCLOS), which provides for all States to co-operate to the fullest possible extent in the repression of piracy on the high seas or in any other place outside the jurisdiction of any State,

FURTHER RECALLING article 105 of UNCLOS which, *inter alia*, provides that, on the high seas or in any other place outside the jurisdiction of any State, every State may seize a pirate ship or aircraft, or a ship or aircraft taken by piracy and under the control of pirates and arrest the persons and seize the property on board,

BEARING IN MIND article 110 of UNCLOS which, *inter alia*, enables warships, military aircraft, or other duly authorized ships or aircraft clearly marked and identifiable as being on government service to board any ship when there is reasonable ground for suspecting that the ship is, *inter alia*, engaged in piracy,

REAFFIRMING resolution A.545(13) on Measures to prevent acts of piracy and armed robbery against ships, adopted on 17 November 1983; resolution A.683(17) on Prevention and suppression of acts of piracy and armed robbery against ships, adopted on 6 November 1991; and resolution A.738(18) on Measures to prevent and suppress piracy and armed robbery against ships, adopted on 4 November 1993,

BEARING IN MIND resolution A.922(22), through which the Assembly adopted the Code of Practice for the Investigation of the Crimes of Piracy and Armed Robbery against Ships (the Code); and which, *inter alia*, urges Governments to take action, as set out in the Code, to investigate all acts of piracy and armed robbery against ships occurring in areas or on board ships under their jurisdiction; and to report to the Organization pertinent information on all investigations and prosecutions concerning these acts,

(発生日時) 10月7日

(発生場所) ソマリア東岸・キスマユ港沖

(概要) 銃で武装したソマリア人がソマリア沖 50 マイルにおいて貨物船をハイジャックした。この貨物船は、他船に供給する燃料、食料を積載しており、海賊は乗員、船体を拘束し身代金を要求した。

(発生日時) 6月27日

(発生場所) モガディッシュ北東約 162 マイル (4:47.6N 48:12E)

(概要) WFP の支援物資を搭載した貨物船 (992 トン) が航行中、海賊は同船をハイジャックし、船と乗員に対する身代金を要求してきた。WFP、ソマリア暫定政府、駐ソマリア・ケニア大使が多くの海賊の出身地であるハラルディアの長老、有力者等と交渉し、10月4日、同船はエル・マーン港に入港し、乗組員 10 名全員が無事解放され、積み荷も無事であった。

CONSIDERING that the Maritime Safety Committee has approved MSC/Circ.622/Rev.1 and MSC/Circ.623/Rev.3 containing recommendations to Governments and guidance to shipowners and ship operators, shipmasters and crews on preventing and suppressing acts of piracy and armed robbery against ships and has established a special signal for use by ships under attack or threat of attack,

NOTING that the General Assembly of the United Nations, at its fifty-ninth session, by resolution A/RES/59/24 on Oceans and the law of the sea, adopted on 17 November 2004, *inter alia*:

1. urges all States, in co-operation with the Organization, to combat piracy and armed robbery at sea by adopting measures, including those relating to assistance with capacity-building through training of seafarers, port staff and enforcement personnel in the prevention, reporting and investigation of incidents, bringing the alleged perpetrators to justice, in accordance with international law, and by adopting national legislation, as well as providing enforcement vessels and equipment and guarding against fraudulent ship registration; and
2. welcomes the progress in regional co-operation in the prevention and suppression of piracy and armed robbery at sea in some geographical areas, and urges States to give urgent attention to promoting, adopting and implementing co-operation agreements, in particular at the regional level in high-risk areas,

NOTING FURTHER, with great concern, the increasing number of incidents of piracy and armed robbery against ships which reportedly occur in waters off the coast of Somalia, some of which have reportedly taken place up to 180 nautical miles from the nearest land,

MINDFUL OF the grave danger to life and the serious risks to navigational safety and the environment to which such incidents may give rise,

BEING PARTICULARLY CONCERNED that the Monitoring Group¹ on Somalia, in its report² of 22 August 2005 to the Security Council of the United Nations (the Security Council), indicates, *inter alia*, that the aim of the attacks on ships sailing off the coast of Somalia is to secure ransom demands to provide the perpetrators with funds for the purchase of arms, in violation of the embargo on all delivery of weapons and military equipment to Somalia (the arms embargo on Somalia) established by the Security Council through resolution S/Res/733(1992), adopted on 23 January 1992, to enable them to continue to carry out operations which, *inter alia*, may place at risk the safety and security of maritime navigation in the area and, thus, have serious consequences on the marine environment,

BEING AWARE of the serious safety and security concerns of the shipping industry and the seafaring community as a result of the attacks against ships sailing in waters off the coast of Somalia referred to above,

¹ Established by the Security Council through resolution S/Res/1519(2003) and its mandate was renewed and expanded through resolutions S/Res/1558(2004), S/Res/1587(2005) and S/Res/1630(2005).

² United Nations document S/2005/625, Report of the Monitoring Group on Somalia pursuant to Security Council resolution S/Res/1587(2005).

BEING CONCERNED at the negative impact such attacks have on the prompt and effective delivery of food aid and of other humanitarian assistance to Somalia and the serious threat this poses to the health and well-being of the people of Somalia,

NOTING, with appreciation, the Sub-regional seminar and workshop on piracy and armed robbery against ships held by IMO in Sana'a, Yemen, from 9 to 13 April 2005, for countries in the Red Sea and Gulf of Aden region; and that a follow-up similar meeting is being organized to take place in Oman from 14 to 18 January 2006,

BEING AWARE that the Security Council has, through resolution S/Res/1425(2002), adopted on 22 July 2002, stipulated that the arms embargo on Somalia prohibits the direct or indirect supply to Somalia of technical advice, financial and other assistance, and training related to military activities,

NOTING that the Security Council by resolution S/Res/1630(2005), adopted on 14 October 2005, *inter alia*, decided to re-establish the Monitoring Group on Somalia and directed it to continue to investigate, in co-ordination with relevant international agencies, all activities, including in the financial, maritime and other sectors, which generate revenues used to commit violations of the embargo on all delivery of weapons and military equipment to Somalia, which the Security Council had established by resolution S/Res/733(1992),

FURTHER NOTING that, following a meeting of the Security Council held on 9 November 2005 to consider the situation in Somalia, the President of the Security Council stated, on behalf of the Security Council, *inter alia*, that the Security Council had expressed serious concern over the increasing incidents of piracy off the coast of Somalia; condemned recent hijackings of vessels in the area, particularly of ships carrying humanitarian supplies to Somalia; and urged the Transitional Federal Institutions of Somalia, regional actors and relevant international organizations to work together to address the problem,

RECOGNIZING that the particular character of the present situation in Somalia, requires an exceptional response to safeguard the interests of the maritime community making use of the sea off the coast of Somalia,

RECOGNIZING ALSO the strategic importance of the navigational routes along the coast of Somalia for regional and global seaborne trade and the need to ensure that they remain safe at all times,

RECOGNIZING FURTHER the need for the immediate establishment of appropriate measures to protect ships sailing in waters off the coast of Somalia from piracy and armed robbery attacks,

APPRECIATING the efforts of those who have responded to calls from, or have rendered assistance to, ships under attack in waters off the coast of Somalia; acknowledging the efforts of a number of international organizations in raising awareness amongst, and providing guidance to, their respective memberships and reporting to the Organization in relation to this issue; and noting, with appreciation, the work done by the International Maritime Bureau of the International Chamber of Commerce in providing the industry with warnings in relation to incidents occurring in waters off the coast of Somalia and assistance in resolving cases where ships had been hijacked and the seafarers on board had been held hostage,

RESPECTING FULLY the sovereignty, sovereign rights, jurisdiction and territorial integrity of Somalia and the relevant provisions of international law, in particular UNCLOS;

HAVING CONSIDERED the advice and recommendations of the Council, at its twenty-third extraordinary session, in relation to specific measures to be taken in the light of the prevailing situation in the waters off the coast of Somalia;

1. CONDEMNS AND DEPLORES all acts of piracy and armed robbery against ships irrespective of where such acts have occurred or may occur;

2. APPEALS to all parties, which may be able to assist, to take action, within the provisions of international law, to ensure that:

1. all acts or attempted acts of piracy and armed robbery against ships are terminated forthwith and any plans for committing such acts are abandoned; and

2. any hijacked ships are immediately and unconditionally released and that no harm is caused to seafarers serving in them;

3. STRONGLY URGES Governments to increase their efforts to prevent and suppress acts of piracy and armed robbery against ships irrespective of where such acts occur and, in particular, to co-operate with other Governments and international organizations, in the interests of rule of law, safety of life at sea and environmental protection, in relation to acts occurring or likely to occur in the waters off the coast of Somalia;

4. ALSO STRONGLY URGES Governments to immediately:

1. issue, to ships entitled to fly their flag, as necessary, specific advice and guidance on any appropriate additional precautionary measures ships may need to put in place when sailing in waters off the coast of Somalia to protect themselves from attack, which may include, *inter alia*, areas to be avoided;

2. issue, to ships entitled to fly their flag, as necessary, advice and guidance on any measures or actions they may need to take when they are under attack, or threat of attack, whilst sailing in waters off the coast of Somalia;

3. encourage ships entitled to fly their flag to ensure that information on attempted attacks or on committed acts of piracy or armed robbery whilst sailing in waters off the coast of Somalia is promptly conveyed to the nearby coastal States and to the nearest most appropriate Rescue Co-ordination Centre;

4. provide a point of contact through which ships entitled to fly their flag may request advice or assistance when sailing in waters off the coast of Somalia and to which such ships can report any security concerns about other ships, movements or communications in the area;

5. bring to the attention of the Secretary-General information on attempted attacks or on committed acts of piracy or armed robbery against ships entitled to fly their flag whilst sailing in waters off the coast of Somalia for him to take appropriate action in the circumstances;

- .6 encourage ships entitled to fly their flag to implement expeditiously, for the ship's protection and for the protection of other ships in the vicinity, any measure or advice the nearby coastal States or any other State or competent authority may have provided;
 - .7 establish, as necessary, plans and procedures to assist owners, managers and operators of ships entitled to fly their flag in the speedy resolution of hijacking cases occurring in the waters off the coast of Somalia; and
 - .8 investigate all acts or attempted acts of piracy and armed robbery against ships entitled to fly their flag occurring in the waters off the coast of Somalia and to report to the Organization any pertinent information;
5. REQUESTS Governments to instruct national Rescue Co-ordination Centres or other agencies involved, on receipt of a report of an attack, to promptly initiate the transmission of relevant advice and warnings, through the World-Wide Navigation Warning Service, the International SafetyNet System or otherwise, to ships sailing in the waters off the coast of Somalia so as to warn shipping in the immediate area of the attack;
6. REQUESTS ALSO the Transitional Federal Government of Somalia to bring the present resolution to the attention of:
- .1 the Transitional Federal Assembly requesting it to initiate appropriate actions suitable to prevent and suppress acts of piracy and armed robbery against ships originating from within Somalia; and
 - .2 all other parties concerned in Somalia and seek from them the immediate termination of all acts of piracy and armed robbery against ships sailing in waters off the coast of Somalia;
7. REQUESTS FURTHER the Secretary-General:
- .1 to transmit a copy of the present resolution to the Secretary-General of the United Nations for consideration and any further action he may deem appropriate including bringing the matter to the attention of the Security Council for consideration and action as appropriate, taking into account relevant regional co-ordination efforts;
 - .2 to continue monitoring the situation in relation to threats to ships sailing in waters off the coast of Somalia and to report to the Council, as and when appropriate, on developments and any further actions which may be required;
 - .3 to establish and maintain co-operation with the Monitoring Group on Somalia; and

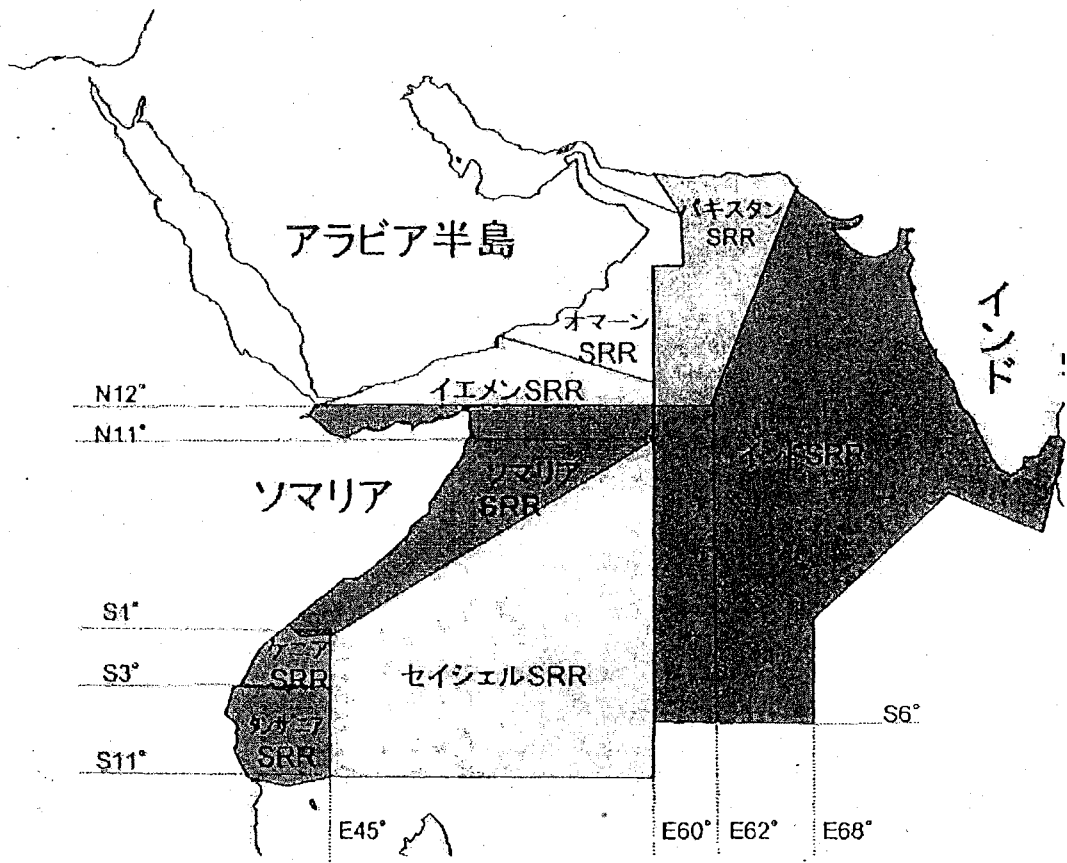
4. to consult with interested Governments and organizations in establishing the process and means by which technical assistance can be provided to Somalia and nearby coastal States to enhance the capacity of these States to give effect to the present resolution as appropriate, taking into account the outcome of the Sub-regional seminar on piracy and armed robbery against ships and maritime security held in Sana'a, Yemen from 9 to 13 April 2005;
 8. ALSO REQUESTS the Council to monitor the situation in relation to threats to ships sailing in waters off the coast of Somalia and to initiate any actions which it may deem necessary to ensure the protection of seafarers and ships sailing in waters off the coast of Somalia.
-

【別添4】

ソマリア近隣国RCC

【イギリスの水路機関「HYDROGRAFIC OFFICE」が発刊する「Admiralty List of Radio Signals Volume 5」による】

① ソマリア近隣国SRR



※ ソマリアSRRには、国際的に認められたSAR機関が存在しない。

※ RCC (Rescue Co-ordination Center): 救助調整センター
(概要) 船舶又は航空機が遭難又は行方不明になった場合に、関係機関が行う捜索・救難(SAR)活動について業務調整を行う機関

※ SRR (Search And Rescue Region): 捜索救難区
(概要) 各国が船艇・航空機の捜索・救難(SAR)業務の責任を負う区域

②ソマリア近隣国RCCの概要

国名	イエメン (YEMEN)		
国際SAR機関種別	Maritime Search and Rescue		
住所	P.O. Box 1316, Aden Port Authority, Shahr-e port, Aden, Yemen		
電話	+967 2 203 521	FAX	+967 2 203 521
備考	Aden Radio (70A)は、500kHz/2182kHz/VHF ch.16の運用週りを繰り返しています。		
無線局	電話	FAX	その他
ADEN RADIO (70A)	+967 2 203537 +967 2 202269		
ADEN HARBOUR CONTROL TOWER	+967 2 202238 +967 2 202076		

国名	インド (INDIA)		
国際SAR機関種別	Indian Coast Guard		
住所	Coast Guard Headquarters, National Stadium Complex, Purana Quila Road, New Delhi-110 061, India		
電話	+91 11 23385849 +91 11 23384934	FAX	+91 11 23383196
Telex	+81 3165359 CGHQ IN	E-mail	INDIARCC@vsnl.com
備考	Indian Coast GuardがSAR活動の調整を行います。インドの捜索救難区 (SRP) は3つのMRCC (Maritime Rescue Co-ordination Center: 海上救助調整センター) により運用されており、西岸を担当するのはムンバイMRCCです。各MRCCは、Indian Coast Guardと一体であり、MRCCのネットワークを通じて他の船種と任務を調整します。		
無線局	電話	FAX	その他
MRCC MUMBAI (Bombay) CGRHQ(West)	+91 22 24376133 +91 22 24301455 +91 1719 (インド内なら無料)	+91 22 24333727 +91 22 24316558	Telex: +81 01171381 BMCG IN +81 01173036 Inmarsat C: (IOR)441907210 Inmarsat M: (IOR)641901610 E-mail: oprcat@vsnl.com indiarcc@vsnl.com
MRSC PORBANDAR	+91 286 2242450	+91 286 2210559	Telex: +81 0166208 OJCG IN Inmarsat C: (IOR)441908210 Inmarsat M: (IOR)641900510 E-mail: comsra_india@vsnl.com
MRSC GOA	+91 832 2521051	+91 8322520584	Telex: +81 0191201 CGGO IN Inmarsat C: (IOR)441907410 Inmarsat M: (IOR)641901310 E-mail: comsra1@vsnl.com
MRSC NEW MANGALORE	+91 824 2407745	+91 824 2407371	Telex: +81 0832218 DHOM IN Inmarsat C: (IOR)441908310 Inmarsat M: (IOR)641900710 E-mail: comsra2@vsnl.com
MRSC KOCHI (Cochin)	+91 484 2218300 +91 484 2218321	+91 2217164	Telex: +81 06857094 DHQ IN Inmarsat C: (IOR)441907310 Inmarsat M: (IOR)641900410 E-mail: comsra3@vsnl.com

国名	オマーン(OMAN)		
国際SAR調整機関	Royal Air Force of Sultanate of Oman		
住所	Headquarters, Royal Air Force of Sultanate of Oman, P.O. Box 722, Postal Code 111, Oman		
電話	+968 614211 +968 614212 +968 614305 +968 614244	FAX	+968 614776 +968 614743
備考	Royal Air Force of Sultanate of OmanがSAR活動の調整を行います。 MASQAT (MUSCUT) (A4M)が広帯域対海波数を無休継守しています。		
無線局	電話	FAX	その他
ROYAL OMAN POLICE COAST GUARD	+968 714888	+968 714937	Telex :+498 5178 POLMAR
RCC MASQAT OMAN AIR FORCE (GOSPAS- SARSAT SPOC)	+968 614211 +968 614212	+968 614776 +968 614743	Telex :+498 5582 RAFO OMAN ON
MASQAT (MUSCUT) (A4M)	+968 571400 +968 571500	+968 562995	Telex :+498 5310 MUSRAD ON
ROYAL NAVY OMAN	+968 618805	+968 614730	Telex :+498 5593 RNO OMAN ON

国名	ケニア(KENYA)		
国際SAR調整機関	ATS Division, Directorate of Civil Aviation, Ministry of Transport and Communication		
住所	P.O. Box 30163, Nairobi, Kenya		
電話	+254 2 822 950	FAX	
備考	ATS Division, Directorate of Civil AviationがSAR活動の調整を行います。 Mombasa Radio(SZF)は運航呼出波数2182kHz及びVHF ch.18を無休継守しています。		
無線局	電話	FAX	その他
Mombasa Radio(SZF)	+254 11 25886 +254 11 720922 +254 11 720845 +254 11 720985		
RCC Nairobi			Telex :+987 22272 TRANSCOMM +987 987 861 AFTN :HKNCYCYX

国名	セイシェル(SEYCHELLES)		
国際SAR調整機関	Seychelles Coast Guard with assistance of Port and Marine Service Division		
住所	Seychelles Coast Guard, P.O. Box 257 Victoria, Mahé, Seychelles		
電話	+248 224 411 +248 224 616	FAX	+248 323288 +248 224665
備考	Seychelles Coast GuardがSAR活動の調整を行い、同機関のMRCC及びPort and Marine Service Divisionのコントロールセンターは、VHF ch.18を無休継守しています。Seychelles Radio(S70)は500kHz,2182kHzの運航通信を無休継守しています。		
無線局	電話	FAX	その他
MRCG SEYCHELLES COAST GUARD	+248 224411 +248 224616	+248 323288 +248 224665	
ARCC, CHIEF AIR TRAFFIC SERVICES	+248 373001	+248 373490 +248 373222	Telex :+865 2239 DCA SZ AFTN :FSSSYAYX
SEYCHELLES RADIO(S70)	+248 375733	+248 376291	Telex :+965 2263
TOWER CONTROL PORT AND MARINE DIVISION	+248 224701	+248 224004	Telex :+965 2329 TRATUR SZ

国名	タンザニア(TANZANIA)		
国際SAR協定機関	Shipping Directorate, Ministry of Communication and Transport		
住所	P.O. Box 9144, Dar es Salaam, Tanzania		
電話		FAX	
備考	Tanzania Harbor Authorityはタンザニア沿岸のSAR活動の調整を行います。 Dar es Salaam Port ControlはVHF ch 16の運用通信を扱っています。		
無線局	電話	FAX	その他
Dar es Salaam (SHA)			

国名	パキスタン(PAKISTAN)		
国際SAR協定機関	Government of Pakistan, Ministry of Communications		
住所	Ports and Shipping Wing, Plot No.12, Misc Area, Mai Kelachi Bypass, Karachi - 74200, Pakistan		
電話	+92 21 9206405 +92 21 9206406 +92 21 9204191	FAX Telex	+92 21 9206407 +92 21 9204191 +82 29822 DGPS PK
国際SAR協定機関	Mercantile Marine Department		
電話	+92 21 2851307 +92 21 285 1306 +92 21 2852703	FAX Telex	+92 21 2861304 +82 29822 DGPS PK
備考	Ministry of CommunicationsのPorts and Shipping Wingには、SAR活動の調整を行います。 KARACHI RADIO (ASK)は国際運航局波数を無条件守っています。		
無線局	電話	FAX	その他
MROC PAKISTAN (MARITIME SECURITY AGENCY)	+92 21 9214624 +92 21 9214964 +92 21 9214866 +92 21 9214967	+92 21 9214625 +92 21 9214621	Telex: +82 27040 MRSEC PK +82 27692 MRSEC PK E-mail: mroc@psc.gov.pk
KARACHI RADIO (ASK)	+92 21 4591161 +92 21 4502009	+92 21 4591285	Telex: +82 21898 ASK PK +82 29266 ASK PK